

地域防災 News

Vol.8

令和8年
6月発行

地域防災Newsとは

名古屋市の防災対策に関して、地域と本市との橋渡し役をお願いしている災害対策委員（区政協力委員が兼務）をはじめ地域の皆様に、防災に関する情報をこのNewsで定期的にお届けいたします。

ハザードマップで 水害リスクの再確認を!

大雨・台風が
くる前に



**ハザードマップが
新しくなりました!**

令和8年4月に新たに中小河川の水害リスクも含めた洪水ハザードマップを作成し公表しています。また、これにあわせてハザードマップの形式を見直し、各区に該当するすべてのハザードマップと防災情報のトピックをまとめた冊子を作成し、**令和8年6月に全戸配布**いたします。

洪水ハザードマップの更新のみではなく、すべてのハザードマップ

ハザードマップが新しくなりました!

これまでも、手に取りやすく保管しやすい形となっておりますので、自宅周辺の災害リスクに加えて避難場所や避難経路をハザードマップを活用しながら調べていただき、**災害時に「いつ」「誰が」「どのように行動するか」を確認**してください。大雨・台風がくる前に命を守る避難行動について考えてみましょう。





洪水ハザードマップが新しくなりました

近年、水害が激甚化・頻発化していることを踏まえ、令和3年の水防法改正により中小河川の水害リスクも明らかにすることが定められました。

令和6年度末までに愛知県において中小河川の水害リスクが公表されたことから、名古屋市の洪水ハザードマップに新たに反映しました。

ハザードマップでご自宅周辺の災害リスクやいざという時の避難先などを確認しましょう。

注意！

中小河川は水位が短時間で急激に上昇する場合がありますので、危険な時は早めの避難を！



令和元年東日本台風で中小河川（内川・新川）が決壊し、浸水するようす
出典：国土地理院ウェブサイト（<https://www.gsi.go.jp>）

洪水ハザードマップの対象河川

- これまでの対象河川（市内河川のみ記載）
- 新たに追加された河川



令和8年5月29日から気象の警報が大きく変わっています

防災気象情報が大きく変わり、警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます。また、「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます。

市から発表される避難情報や防災気象情報などを参考に、避難のタイミングを考えましょう。

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			



新たな防災気象情報
について

防災気象情報の詳細は
こちらで確認



気象庁
Japan Meteorological Agency



災害発生初動期の地域の防災活動を確認しよう！

災害対策委員等地域の防災リーダーの災害時における、役割等をまとめた「**名古屋市地域の防災リーダー初動対応シート**」については、これまで地震災害のみの対応例を掲載していましたが、令和6年度に風水害時の対応例についても掲載しました。

地域における災害対応の検討や、防災訓練での参考資料等としてご活用ください。

詳しくはこちら >>>



名古屋市
地域の防災リーダー
初動対応シート

標準版